

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 酒井重工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6358 URL <https://www.sakainet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 吉川 孝郎 TEL 03-3434-3401
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,565	△14.4	36	△74.4	△52	—	△122	—
2020年3月期第1四半期	5,333	△15.7	143	△73.3	151	△69.5	112	△44.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 27百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △23百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△28.49	—
2020年3月期第1四半期	26.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2021年3月期第1四半期	34,527		21,732		62.8
2020年3月期	35,448		21,919		61.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 21,691百万円 2020年3月期 21,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	30.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

2021年3月期第2四半期末の配当予想については、本日（2020年8月7日）公表致しました「2021年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。なお、2021年3月期期末配当金につきましては、通期業績予想が算定可能となりました後に公表させていただく予定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,780	△19.2	170	△75.8	140	△78.0	40	△89.9	9.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

2021年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想の修正については、本日（2020年8月7日）公表致しました「2021年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。なお、2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による通期連結業績への影響を合理的に算定することが困難な為、現時点における公表は引き続き見送り、業績予想が可能となりました段階に速やかに開示致します。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	4,311,917株	2020年3月期	4,311,917株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	25,323株	2020年3月期	25,283株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	4,286,619株	2020年3月期1Q	4,262,543株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結地域区分別売上高表

区 分	当第1四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年6月30日		前第1四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
国 内	2,427	53.2	2,577	48.3	△150	△5.8
海 外	2,138	46.8	2,755	51.7	△617	△22.4
北 米	743	16.3	1,558	29.2	△814	△52.3
アジア	1,350	29.5	1,079	20.3	270	25.1
中近東・ロシアCIS	2	0.1	6	0.1	△3	△59.0
その他	41	0.9	110	2.1	△68	△62.1
合 計	4,565	100.0	5,333	100.0	△767	△14.4

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）における当企業グループを取り囲む事業環境は、新型コロナウイルス感染拡大による地球規模の行動制約が続く中、世界的な社会経済活動の変容と世界経済の同時減速が急激に進みました。

またこのコロナ問題勃発を起点として、米中冷戦構造を軸とした地政学情勢が一層緊迫化するとともに、テクノロジー革命による産業構造変化のスピードが急加速しました。

このような情勢の下で当企業グループでは、職場の安全環境整備と事業継続のためのDX（デジタルトランスフォーメーション）体制整備を進めるとともに、引き続き変化を大前提とした事業経営と、海外事業と次世代事業による中長期成長戦略を基本とした成長基盤づくりを進めて参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、世界経済同時減速の影響を受けて前年同期比14.4%減の45億6千万円となりました。

営業利益は、前年同期比74.4%減の3千万円、経常利益は、インドネシアルピアの一時的急落に伴う為替差損1億2千万円の計上により5千万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純利益は、単体の税負担が加わり1億2千万円の損失となりました。

連結地域区分別売上高状況につきましては、次のとおりであります。

国内向け売上高は、5月25日の緊急事態解除宣言をもって公共土木工事が正常化し、前年同期比5.8%減の24億2千万円と小幅な影響に留まりました。

海外向け売上高は、世界的な行動制約により経済活動が停止する中、前年同期比22.4%減の21億3千万円となりました。

北米向け売上高は、行動制限から経済活動が再開したものの、その回復の勢いは弱く、前年同期比52.3%減の7億4千万円となりました。

アジア向け売上高は、インドネシアで感染拡大による経済停滞が続く一方、ベトナムやタイ、韓国など感染収束の進んだ地域で経済活動が活発化し、前年同期比25.1%増の13億5千万円となりました。

中近東・ロシアCIS向け及びその他市場向け売上高は、営業活動が制約される中、両市場合算で前年同期比6割減の4千万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

		当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増 減	
				金 額	増減率
日 本	総売上高	百万円 3,589	百万円 3,933	百万円 △344	% △8.8
	営業利益	48	△47	95	—
米 国	総売上高	745	1,569	△823	△52.5
	営業利益	△40	94	△135	—
インドネシア	総売上高	863	719	143	20.0
	営業利益	15	23	△8	△37.0
中 国	総売上高	127	402	△274	△68.3
	営業利益	△21	27	△49	—
調 整 額	総売上高	△759	△1,291	531	—
	営業利益	35	44	△9	—
連 結	総売上高	4,565	5,333	△767	△14.4
	営業利益	36	143	△106	△74.4

日本

国内向け販売が底堅く推移したものの海外向け販売及び海外工場向け部品輸出が減少し、総売上高は前年同期比8.8%減の35億8千万円と減収ながら、営業利益は販管費減と原価率改善により4千万円の黒字に転換しました。

海外

米国では、ジョージア州の屋内退避令による工場閉鎖と経済活動再開後の販売鈍化の影響で、総売上高は前年同期比52.5%減の7億4千万円、営業利益は固定費削減を進めましたものの4千万円の損失となりました。

インドネシアでは、政府の大規模社会的制限が発動される中、第三国向け輸出が増加に転じたものの国内販売の低迷が続き、総売上高は前年同期比20.0%増の8億6千万円ながら、営業利益は前年同期比37.0%減の1千万円となりました。

中国では、米国向け輸出を抑制する中で国内向け販売が伸び悩み、総売上高は前年同期比68.3%減の1億2千万円、営業利益は2千万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ9億2千万円減少し、345億2千万円となりました。

流動資産につきましては、たな卸資産が2億円増加し、現金及び預金が11億3千万円減少、受取手形及び売掛金が2億4千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ12億6千万円減少し、223億2千万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券が2億9千万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億4千万円増加し、122億円となりました。

流動負債につきましては、未払法人税等が2億1千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ8億5千万円減少し、106億円となりました。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億2千万円増加し、21億9千万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が3億3千万円減少、その他有価証券評価差額金が2億円増加、為替換算調整勘定が5千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億8千万円減少し、217億3千万円となりました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.1ポイント増加し、62.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後につきましては、新型コロナウイルス問題の長期化とともに新常態の行動様式が定着し、社会経済のデジタル化が本格的に進むものと予想しています。

国内市場では、土木工事の正常化と今年度公共投資予算を背景とした底堅い政府建設投資により安定した事業環境が続くものと期待されます。

海外市場では、中国や北米、アジアの一部の国々で経済活動が再開され、インフラ投資による経済対策も始まりつつありますが、未だに多くの国々がコロナ渦中にあり社会経済活動の停滞が続いています。更には感染再拡大リスクの高まりや、米中対立の伴う世界経済の分断など、海外情勢の先行きは見通しづらい状況にあります。

新たな技術面につきましては、政府骨太方針で社会資本整備におけるデジタル化とスマート化の推進が表明され、建設産業のDX（デジタルトランスフォーメーション）が益々加速する見通しです。

このような世界情勢の大転換期の中で当企業グループでは、新常態に向けたDX体制の整備、急激な需要変化への対応強化、米中対立に伴う米国事業と中国事業の収益構造改革、アジア市場深耕と北米市場展開、新技術活用による次世代事業の開発、活力ある企業文化づくりなど、変化対応と成長戦略を積極的に推し進め、新たな事業環境における成長基盤を固めて参ります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,755,441	5,620,290
受取手形及び売掛金	6,251,988	6,009,731
商品及び製品	4,922,324	4,847,451
仕掛品	1,434,719	1,387,407
原材料及び貯蔵品	3,196,267	3,525,109
その他	1,025,624	931,346
流動資産合計	23,586,366	22,321,336
固定資産		
有形固定資産	6,816,715	6,827,646
無形固定資産	613,745	646,187
投資その他の資産		
投資有価証券	2,695,310	2,988,011
その他	1,736,190	1,744,814
投資その他の資産合計	4,431,500	4,732,826
固定資産合計	11,861,961	12,206,660
資産合計	35,448,327	34,527,997
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,858,381	4,637,093
短期借入金	4,628,906	4,598,170
未払法人税等	332,068	121,284
引当金	165,950	137,113
その他	1,470,012	1,107,851
流動負債合計	11,455,319	10,601,514
固定負債		
長期借入金	1,232,620	1,235,376
退職給付に係る負債	137,169	127,624
その他	703,238	830,836
固定負債合計	2,073,027	2,193,836
負債合計	13,528,346	12,795,350

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,191,658	3,191,658
資本剰余金	6,437,601	6,437,601
利益剰余金	11,109,401	10,772,926
自己株式	△61,846	△61,936
株主資本合計	20,676,814	20,340,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,079,061	1,283,035
為替換算調整勘定	118,860	65,803
退職給付に係る調整累計額	2,387	2,301
その他の包括利益累計額合計	1,200,309	1,351,140
非支配株主持分	42,857	41,257
純資産合計	21,919,981	21,732,647
負債純資産合計	35,448,327	34,527,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,333,620	4,565,884
売上原価	3,944,063	3,375,280
売上総利益	1,389,557	1,190,604
販売費及び一般管理費		
運搬費	92,784	80,670
給料及び賞与	530,625	509,716
技術研究費	187,392	179,030
その他	435,293	384,426
販売費及び一般管理費合計	1,246,095	1,153,843
営業利益	143,461	36,760
営業外収益		
受取利息	642	1,339
受取配当金	68,551	95,277
その他	10,634	1,998
営業外収益合計	79,828	98,615
営業外費用		
支払利息	45,462	39,751
金融手数料	16,317	16,132
為替差損	8,056	131,775
その他	1,748	470
営業外費用合計	71,585	188,130
経常利益又は経常損失(△)	151,704	△52,754
特別利益		
固定資産売却益	1,772	20,431
特別利益合計	1,772	20,431
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	153,476	△32,323
法人税等	41,117	91,042
四半期純利益又は四半期純損失(△)	112,359	△123,365
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	229	△1,223
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	112,129	△122,142

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	112,359	△123,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△113,774	203,974
為替換算調整勘定	△22,133	△53,434
退職給付に係る調整額	△96	△86
その他の包括利益合計	△136,003	150,453
四半期包括利益	△23,643	27,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,869	28,689
非支配株主に係る四半期包括利益	225	△1,601

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。